2023. 4. 21 現在
全 5 枚

旅行企画担当者様

2023 年度「第 48 回 京の夏の旅」文化財特別公開　について

公益社団法人京都市観光協会

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今年度で４８回目を迎える京都市・京都市観光協会主催の**「京の夏の旅」キャンペーン**の概要についてお知らせいたします。

下記情報は現時点での情報となります。今後変更となる場合もございます。

＊＊＊

「京の夏の旅」キャンペーン

京都市・京都市観光協会主催の毎年恒例の夏の観光キャンペーン「京の夏の旅」は、２０２３年度で４８回目を迎えます。普段見学することのできない文化財を期間限定で公開する**「文化財特別公開」**、テーマを設けて各地を効率よくめぐる**「定期観光バス特別コース」**、京の伝統産業や伝統文化などに触れる体験型プラン**京都「千年の心得」**など、多彩な内容で実施いたします。

◆キャンペーン期間：**２０２３年7月1日（土）～9月30日（土）**

◆キャンペーン内容：

【文化財特別公開】

１５名以上の団体での拝観は、WEB「団体予約専用サイト」からご予約をお願いします。
※サイトは２０２３年4月２４日（月）１０：００～公開

予約サイト URL：https://select-type.com/rsv/?id=0KHmNVvvr10&c_id=280602&w_flg=1

※アクセスにはパスワードが必要です

〇お問合せ先　公益社団法人京都市観光協会　誘致事業課
TEL：075-213-0020（誘致事業課 直通　平日のみ）　FAX：075-213-1011
※但し、旧三井家下鴨別邸の見学については、直接お申込みください。（TEL：075-366-4321）

観光客の皆様へ
・体調不良の方は、ご拝観をご遠慮くださいますようお願いいたします。
・拝観に際しては係員の案内に従っていただきますようお願いいたします。

〇京の夏の旅に関するお問い合わせ（一般向け専用ダイヤル　2022 年 6 月上旬開通予定）
コールセンター：**TEL　０７５－５８５－５１８１**（9：00～17：00）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊　「京の夏の旅」文化財特別公開　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

新選組結成160年＆世界遺産

幕末の文久３年（1863）に壬生の地で結成され、2023年に結成160年を迎える「新選組」。副長・土方歳三の胸像が2023年７月16日の「新選組隊士等慰霊供養祭」に合わせて新たに建立されます。第48回「京の夏の旅」では**「新選組ゆかりの地」**と**「夏に訪ねたい世界遺産の社寺」**をテーマに、通常非公開の文化財を期間限定で特別公開いたします。

○公開箇所：**■壬生寺（みぶでら） 本堂（ほんどう）・壬生塚（みぶづか）　■旧前川邸（きゅうまえかわてい） 東（ひがし）の蔵（くら）　■新徳寺（しんとくじ）**
■角屋（すみや）〈一階部分〉　■輪違屋（わちがいや）
■仁和寺（にんなじ） 御殿（ごてん）・庭園（ていえん）　■上賀茂神社（かみがもじんじゃ） 本殿（ほんでん）・権殿（ごんでん）　■下鴨神社（しもがもじんじゃ） 本殿（ほんでん）・大炊殿（おおいどの）
■旧三井家下鴨別邸（きゅうみついけしもがもべってい）〈主屋（しゅおく）二階〉　計　９ヶ所

○公開期間：**２０２３年７月８日（土）～９月３０日（土）　８５日間**
＊壬生寺：9/22（金）・23（土祝）は拝観休止（壬生塚のみ300円にて拝観可）。7/16（日）・25（火）は11：00～の公開（7/25は～11：00までは壬生塚のみ300円にて拝観可）。
＊新徳寺：9/19（火）・22（金）・23（土祝）は拝観休止
＊角屋：7/19（水）～9/14（木）の公開（一階のみ）となります。3/15～7/18および9/15～12/15は「角屋もてなしの文化美術館」として通常公開（月曜休館、祝日の場合翌日休館、料金は異なる）
＊輪違屋：7/8（土）～8/31（木）と9/16（土）～24（日）の公開となります。
＊旧三井家下鴨別邸〈主屋二階〉：8/17（木）～29（火）の公開。但し8/23（水）は休館。
（期間外は通常公開・水曜休館）

その他、祭典・法要や悪天候等、都合により拝観できない日や時間帯が生じる場合があります。最新情報は京都観光Naviホームページ「京の夏の旅」（６月初旬公開予定）で随時更新　https://ja.kyoto.travel/

○公開時間：**１０：００～１６：３０（１６：００受付終了）**
＊角屋、輪違屋　　１０：００～１６：００（１５：３０受付終了）
＊仁和寺 御殿・庭園　　９：００～１７：００（１６：３０受付終了）
＊旧三井家下鴨別邸〈主屋二階〉　９：００～１７：００（１６：３０受付終了）

○料金（１ヶ所）：個人　　大人　８００円／小学生　４００円
団体（１５名以上）大人　７２０円／小学生　３６０円

■仁和寺 御殿・庭園（通常公開部分を含む）
個人 大人(大学生以上)１，０００円／高校生以下 無料
団体（１５名以上）　大人(大学生以上)９００円／高校生以下 無料

■旧三井家下鴨別邸（通常公開部分の料金含む）
個人　　大人　８００円／中高生　５００円／小学生　４００円
団体（２０名以上）大人　７５０円／中高生　４７０円／小学生　３８０円

靴を脱ぐ必要のある場所には靴棚を設置しておりますが、靴間違い防止のため「靴袋持参」をお勧めしております。※プラスチックゴミ削減のため靴袋配布は行いません

○公開箇所の概要：

■壬生寺 本堂・壬生塚　新選組結成 160 年「京の夏の旅」初公開

～新選組ゆかりの寺 刀剣特別公開～

平安時代創建の律宗寺院で、幕末、新選組が境内を兵法訓練場としていたことで知られます。特別公開の本堂には、美しい截金文様が見事な、藤原時代に作られた現存最古級の地蔵菩薩立像（重文）を安置。今回は、新選組隊服「だんだら羽織」（復元）や、土方歳三も所持したものと同じく会津藩お抱え刀工・十一代和泉守兼定が作刀した「和泉守兼定」「虎徹」などの刀剣も特別公開されます。また近藤勇の胸像（7 月 1 6 日以降は土方歳三像も建立予定）や隊士の墓塔が建つ「壬生塚」もあわせて拝観できます。

所　　在：中京区壬生梛ノ宮町 31
アクセス：・京都駅からＪＲ嵯峨野線「丹波口」駅下車、徒歩約１０分
　　・京都駅から市バス２６・２８系統「壬生寺道」下車、徒歩約３分
★大型Ｐ：なし（四条通で路上乗降）　★拝観所要時間：約 35～40 分（乗降場所からの往復＋15 分）

▶新選組結成１６０年　土方歳三胸像建立◀

文久３年（1863）、壬生の地において結成された新選組。兵法調練場として、武芸や大砲の訓練が行なわれた壬生寺のほか、界隈に３ヶ所ほどあった屯所（詰所・宿所）のうち、現在も八木邸と前川邸が往時のおもかげを残しています。
壬生寺境内の放生池の中の島は「壬生塚」と呼ばれ、新選組局長・近藤勇の胸像と遺髪塔、屯所で暗殺された芹沢鴨と平山五郎の墓や、隊士の合祀墓がある場所。2023 年、新選組結成 160 年を記念し、この壬生塚内に新たに副長・土方歳三の胸像が７月 16 日の「新選組隊士等慰霊供養祭」に合わせて建立されます。

■旧前川邸 東の蔵　新選組結成 160 年「京の夏の旅」初公開

～池田屋事件の端緒 新選組屯所に残る土蔵～

旧前川邸は、文久 3 年（1863）から約 2 年間、新選組の屯所となった建物。ここを活動拠点とし、新選組に関わる様々な事件の舞台ともなりました。

今回は、豪雨により傷んだ屋根の修繕と葺き替え工事が行われたばかりの「東の蔵」を特別公開。
両替商を営んでいた前川家は、京都御所や京都守護職など公的機関の出納も担当しており、天保 10 年（1839）に完成したこの蔵は貴重品を保管していたため、四重扉の厳重な造りとなっています。一階部分の床板の一部を外して金庫として使用、二階の床の一部も開けると地下金庫まで通じるように、荷物昇降用の荒縄が梁から吊るされています。この「東の蔵」で、池田屋事件の端緒となった土方歳三による古高俊太郎への拷問が行われました。そのほか、現在は取り外されている「長屋門」の刀傷の残る出格子なども展示されます。

所　　在：中京区壬生賀陽御所町 49
アクセス：・京都駅からＪＲ嵯峨野線「丹波口」駅下車、徒歩約１０分
　　・京都駅から市バス２６・２８系統「壬生寺道」下車、徒歩約３分
★大型Ｐ：なし（四条通で路上乗降）　★拝観所要時間：約 25 分（乗降場所からの往復＋15 分）

■新徳寺（しんとくじ）　新選組結成 160 年　「京の夏の旅」初公開

～新選組誕生のきっかけとなった演説の場～

江戸時代創建の臨済宗永源寺（えいげんじ）派の寺院で、幕末、上洛した「浪士組（ろうしぐみ）」のリーダーであった清河八郎（きよかわはちろう）が、浪士たちを集めて尊王攘夷（そんのうじょうい）の演説を行った場所。これに反発した近藤勇（こんどういさみ）らが、江戸に引き返した清河らと決別し、「幕府権力の維持」を目指して立ち上げた集団が「壬生浪士組（みぶろうしぐみ）」、後の「新選組」です。

本堂や、内部に残る燭台（しょくだい）は当時のものといわれており、内陣中央には本尊・准胝観音菩薩像（じゅんていかんのんぼさつ）が安置されています。また脇壇に祀られる地蔵菩薩像は、大風で壊れた屋根を直してくれた若い法師が地蔵菩薩の化身であったという言い伝えから「屋根葺地蔵（やねふき）」とも呼ばれ広く信仰されてきました。

所　　在：中京区壬生賀陽御所町 48
アクセス：・京都駅からＪＲ嵯峨野線「丹波口」駅下車、徒歩約１０分
　　・京都駅から市バス２６・２８系統「壬生寺道」下車、徒歩約３分
★大型Ｐ：なし（四条通で路上乗降）　★拝観所要時間：約 25 分（乗降場所からの往復＋15 分）

■角屋（すみや）〈一階部分〉　新選組結成 160 年　「京の夏の旅」５年ぶりの公開

～新選組も通った旧花街　重要文化財の揚屋建築～

島原開設当初から残る角屋（重文）は、江戸時代、太夫（たゆう）や芸妓（げいこ）を呼んで歌舞音曲を楽しむ饗宴の場であった「揚屋（あげや）」建築の唯一の遺構。豪商や文化人が集った江戸期の文化サロンで、幕末には勤王の志士や新選組も足繁く通い、新選組隊士によるものと伝わる刀傷も残っています。細部にまで意匠を凝らし、部屋ごとに趣向の異なる粋で斬新な装飾が見事で、今回は「松の間」「網代（あじろ）の間」などの１階部分が公開されるほか、西郷隆盛（さいごうたかもり）が行水に使用した盥（たらい）や新選組掛売禁止の古文書なども特別展示されます。（二階座敷と美術館はご覧いただけません）

所　　在：下京区西新屋敷揚屋町 32
アクセス：・京都駅からＪＲ嵯峨野線「丹波口」駅下車徒歩約７分
　　・京都駅から市バス２０６系統「島原口」下車徒歩約 10 分、もしくは市バス２０５系統「梅小路公園前」下車徒歩約 10 分
★大型Ｐ：なし（七条通で路上乗降）　★拝観所要時間：約３５分（乗降場所からの往復＋17 分）

■輪違屋（わちがいや）　新選組結成 160 年　「京の夏の旅」５年ぶりの公開

～新選組ゆかりの島原に現存する唯一の置屋～

島原において、元禄年間（1688～1704）に創業、太夫を抱える置屋（おきや）兼お茶屋として現在も唯一営業を続ける輪違屋。建物は安政４年（1857）に再建されており、太夫道中（どうちゅう）傘（がさ）を貼りこんだ銀地の襖が印象的な「傘の間」や、壁に本物の紅葉を塗りこんで型を取り彩色を施した「紅葉（もみじ）の間」など、斬新な意匠の座敷がみどころです。また新選組局長・近藤勇（こんどういさみ）の書を屏風にしたてた「近藤勇墨跡屏風（こんどういさみぼくせきびょうぶ）」や長州藩士・桂小五郎（かつらこごろう）（木戸孝允）の書の掛軸も残されています。

所　　在：下京区西新屋敷中之町１１４
アクセス：・京都駅からＪＲ嵯峨野線「丹波口」駅下車徒歩約７分
　　・京都駅から市バス２０６系統「島原口」下車徒歩約７分、もしくは市バス２０５系統「梅小路公園前」下車徒歩約７分
★大型Ｐ：なし（五条通で路上乗降）　★拝観所要時間：約２５～３０分（乗降場所からの往復＋10 分）

■仁和寺 御殿・庭園 世界遺産 「京の夏の旅」初公開

～池の畔まで歩ける！御殿庭園が特別ルートで回遊式に～

真言宗御室派の総本山で、世界文化遺産。代々皇室から住職を迎えた門跡寺院で、日本画家・原在泉や福永晴帆の襖絵が残る「宸殿」「白書院」（いずれも国登録有形文化財）などの「御殿」は、回廊で結ばれ御所に似た風情が漂います。通常は建物内からのみ拝観できる、七代目小川治兵衛作の「北庭」と白砂敷きの「南庭」からなる庭園（名勝）は、「京の夏の旅」期間中、庭に下りて特別回遊ルートで拝観できます。かつては皇族のみが通った門から入る南庭のルートや、北庭の石橋を渡り滝近くの場所から望める御殿建築群もみどころです。

所　　在：右京区御室大内 33
アクセス：・京都駅または JR 嵯峨野線「円町」駅から市バス２６系統または JR バス「御室仁和寺」下車、徒歩約２分
・京都駅からＪＲ嵯峨野線「太秦」駅で嵐電乗換、「撮影所前」駅から「御室仁和寺」駅下車、徒歩約２分
★大型Ｐ：仁和寺駐車場
★拝観所要時間：約４０分（駐車場から受付まで片道徒歩約５分）

■上賀茂神社（賀茂別雷神社）本殿・権殿 世界遺産

～神山を拝する清澄な神域　国宝本殿と権殿～

世界文化遺産・上賀茂神社は、正式には「賀茂別雷神社」といい、神代の昔に御祭神が降臨され、飛鳥時代にはすでに現在の社殿の礎が造営されたという京都最古の社の一つ。広大な境内に建ち並ぶ檜皮葺きの典雅な社殿のうち、賀茂別雷神を祀る「本殿」と常設の仮殿「権殿」が国宝、その他の４１棟が重要文化財で、２１年に一度の「式年遷宮」によって修復され、古の姿そのままに守られてきました。普段は入ることができない神域「内庭」にお入りいただき、本殿（国宝）と権殿（国宝）を神職のご案内で特別参拝していただくほか、貴重な御神宝なども拝観していただきます。

所　　在：北区上賀茂本山 339
アクセス：・京都駅から市バス４系統「上賀茂神社前」下車徒歩すぐ、もしくは市バス９系統「上賀茂御薗橋」下車徒歩約５分
★大型Ｐ：上賀茂神社Ｐ（無料・予約不要）
★拝観所要時間：約４５分（駐車場から受付まで片道約５分）

大河ドラマ主人公・徳川家康公の家紋「三葉葵」が一説に賀茂社の神紋に由来するということで、家康公が篤く信仰したといわれます。

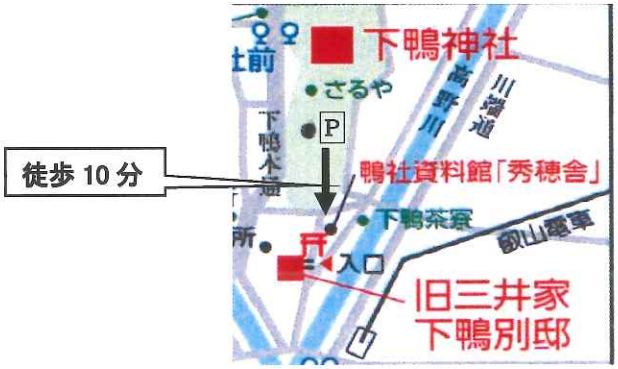
■ 下鴨神社（賀茂御祖神社） 本殿・大炊殿 世界遺産

～古代の森に包まれた国宝本殿と神様の台所～

世界文化遺産・下鴨神社は、正式名称を「賀茂御祖神社」といい、京都最古の社の一つ。紀元前と同じ原生林の植生を残し、縄文土器も出土した「糺の森」（史跡）の中に、国宝２棟、重要文化財５３棟を含む社殿群が残されており、２１年に一度の「式年遷宮」によって古式の通り忠実に修復されています。

賀茂建角身命と玉依媛命を祀る東西２棟の美しい「流造」の本殿（国宝）を特別参拝所から間近で拝観していただくほか、神社建築としては珍しい神様のお台所・大炊殿（重文）も拝観していただきます。＊境内南の「秀穂舎」特別展も（本殿・大炊殿の拝観券で）あわせて拝観できます。

所　　在：左京区下鴨泉川町
アクセス：・京都駅から市バス４・２０５系統「下鴨神社前」下車徒歩すぐ
　　・京都駅からＪＲ奈良線「東福寺」駅で京阪電車乗換「出町柳」駅下車徒歩約 12 分
★大型Ｐ：下鴨神社Ｐ（無料・予約不要）
★拝観所要時間：約４５分（秀穂舎は別途約１５分）
※秀穂舎は１５:３０受付終了　※本殿・大炊殿～秀穂舎間の移動は徒歩約１０分



下鴨神社付近図

■旧三井家下鴨別邸〈主屋二階〉

～緑に包まれた豪商の別邸　近代の名建築～

下鴨神社の南に位置する豪商・三井家の旧別邸（重文）。明治１３年築の三井家の建物に、玄関棟などを増築。格調高い「玄関棟」は、書院造を基調としながら椅子座式で天井を高くするなど、近代的な趣をもっています。また「主屋」は、南に広がる庭園と一体となった開放的な造り。庭園には灯籠や巨石などが配され下鴨神社境内を流れて来る泉川から水を引いた瓢箪型の池が作られています。

今夏、通常公開されている１階と庭園に加えて、通常非公開の２階の座敷を特別公開。庭園を見下ろせる開放的な２階の座敷は、豊かな森に包まれた気分を味わえます。

＊8/17（木）～29（火）の公開。但し 8/23（水）は休館（期間外は通常公開・水曜休館）

所　　在：左京区下鴨宮河町５８番地２
アクセス：・京都駅から市バス 205 系統「葵橋西詰」下車徒歩約 5 分、もしくは市バス 4・17 系統「出町柳駅前」下車徒歩約 5 分
　　・京都駅からＪＲ奈良線「東福寺」駅で京阪電車乗換「出町柳」駅下車徒歩約 5 分
★大型Ｐ：なし（下鴨本通にて路上乗降）
★見学所要時間：約４０～５０分（乗降場所から受付まで片道約５分）

旧三井家下鴨別邸　夏の夜間開館　～週末限定で夜間開館～

黄昏時から始まるライトアップ。風鈴の音色が涼しげな縁側や庭園のベンチで、冷たいドリンクとともに夏の夜を味わっていただきます。

○開催期間：7 月 21 日（金）～23 日（日）、28 日（金）～30（日）　計 6 日間
○開館時間：17:30～20:30（受付終了 20:00）
○料　　金：一階　大人 1,200 円　中高生 600 円（ワンドリンク付・税込）
　　二階　大人 1,800 円　中高生 900 円（ワンドリンク付・税込）
　　※小学生は無料
○内　　容：建物内および庭園見学、カフェスペースでの飲み物
　　※団体でお越しの場合は、事前に必ずご連絡ください。

アルコールもあります！

旧三井家下鴨別邸　TEL：075-366-4321　※水曜休館（水曜が祝休日の場合その翌日）

お問い合わせ：「京の夏の旅」コールセンター（2023 年 6 月上旬～9 月 30 日までの 9：00～17：00）
TEL　０７５－５８５－５１８１